



YUASA REPORT

第 143 期 2021.4.1-2022.3.31

「つなぐ」価値創造で、 新たな社会課題に挑戦します。

代表取締役社長 田村 博之

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2020年4月に「ユアサビジョン360」の2ndステージとして、2023年3月期を最終年度とする中期経営計画「Growing Together 2023」を策定し、「『つなぐ』複合専門商社グループ」のキャッチフレーズのもと、成長事業戦略、コア事業戦略の実行と経営基盤の強化を推進しております。

各事業の推進にあたっては、「つなぐ」価値創造をコンセプトに、モノづくり、すまいづくり、環境づくり、まちづくりの各分野におけるソリューション提案に注力しております。

モノづくり分野では、加工精度と洗浄性を

高めるマイクロファインバブル発生装置「バブパワー」による加工環境ソリューションを展開しております。同製品は2022年2月に日刊工業新聞社十大新製品賞「モノづくり賞」の受賞をいただくことができました。 [P5参照](#)

まちづくりの分野では、近年深刻化するゲリラ豪雨による内水氾濫に対し、IoTによる冠水検知から発電機稼働、自動排水までをシステム化した「つなぐBCPパッケージ」を開発し、今年度より販売を開始しています。 [P6参照](#)

この他にも、モノづくり、すまいづくり、環境づくり、まちづくりの各分野で合計20以上の「つなぐソリューション」を展開しております。

これらの各分野の「つなぐ」価値創造を体感いただく展示会として、2022年7月より全国

5会場でブランドフェアを開催いたします。同展示会は当社グループの各事業をご理解いただく格好の場となりますので、是非ご来場ください。 [P9参照](#)

サステナビリティ推進の取り組みとしては、環境・エネルギーソリューションビジネスと当社グループのカーボンニュートラルの両面を推進しております。ビジネス面においては、当社オリジナルのエネルギー統合管理システム「YES-net」によるCO₂排出量の現状把握と削減に向けた提案を推進しております。当社グループ内の取り組みとしては、2030年度までに当社グループ全体のカーボンニュートラルを目指すとともに、ESGや気候変動に関わる情報開示を積極的に行ってまいります。 [P3~4参照](#)

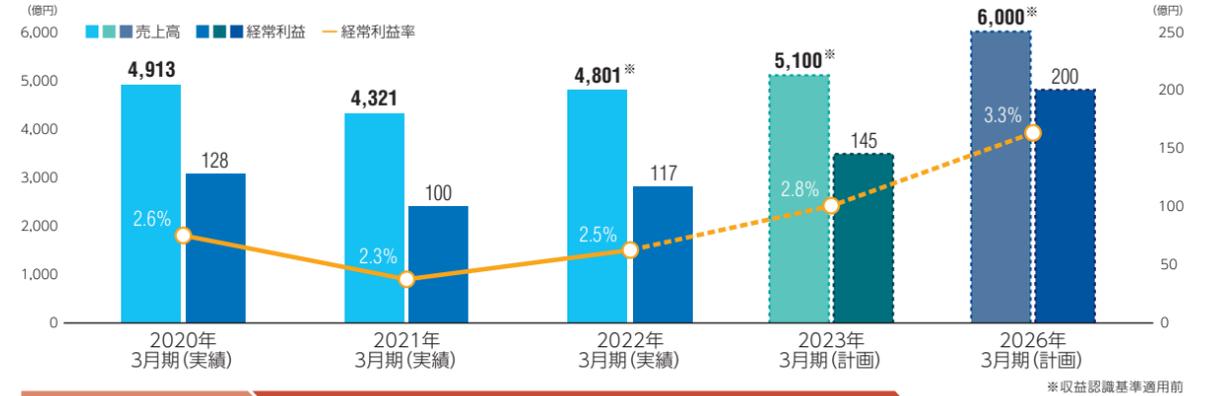
2022年3月期の期末配当におきましては、当初の予定とおり74円とし、年間配当金を1株123円とさせていただきます。2023年3月期におきましては、年間配当金140円を予定しております。また、株主還元及び資本効率の向上を目的に、2022年5月16日より170万株、40億円を上限とした自己株式の取得を行ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、何卒相変わりがせぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

長期ビジョンと中期経営計画

「ユアサビジョン360」2026年（創業360周年）のビジョン
業界トップレベルの収益構造を持つ「**つなぐ** 複合専門商社グループ」への成長を目指します。

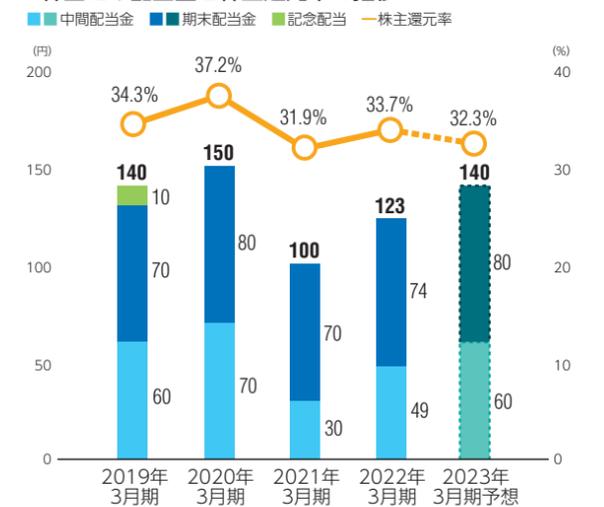
中期経営計画「Growing Together 2023」3つの戦略 [成長事業戦略 P7](#) [コア事業戦略 P9](#) [経営基盤の強化 P10](#)



定量目標 (連結)

	2023年3月期 計画	2026年3月期 計画
売上高	5,100億円*	6,000億円*
営業利益	135億円	—
経常利益	145億円	200億円
経常利益率	2.8%	—
当期純利益	95億円	—
ROE	10.3%以上	11.7%
株主還元率	32.3%以上	33.0%以上

1株当たり配当金と株主還元率の推移



*収益認識基準適用前

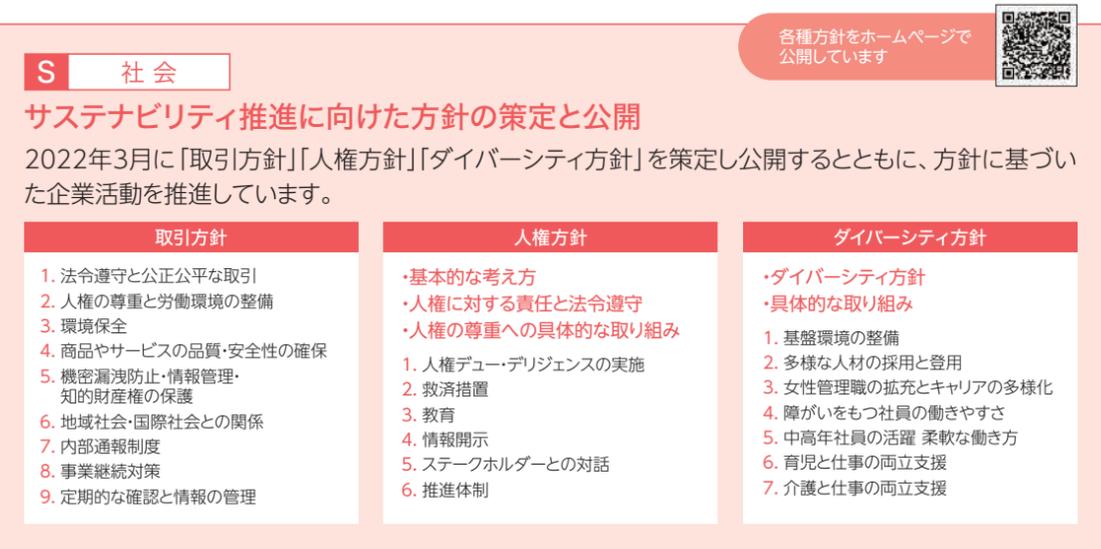
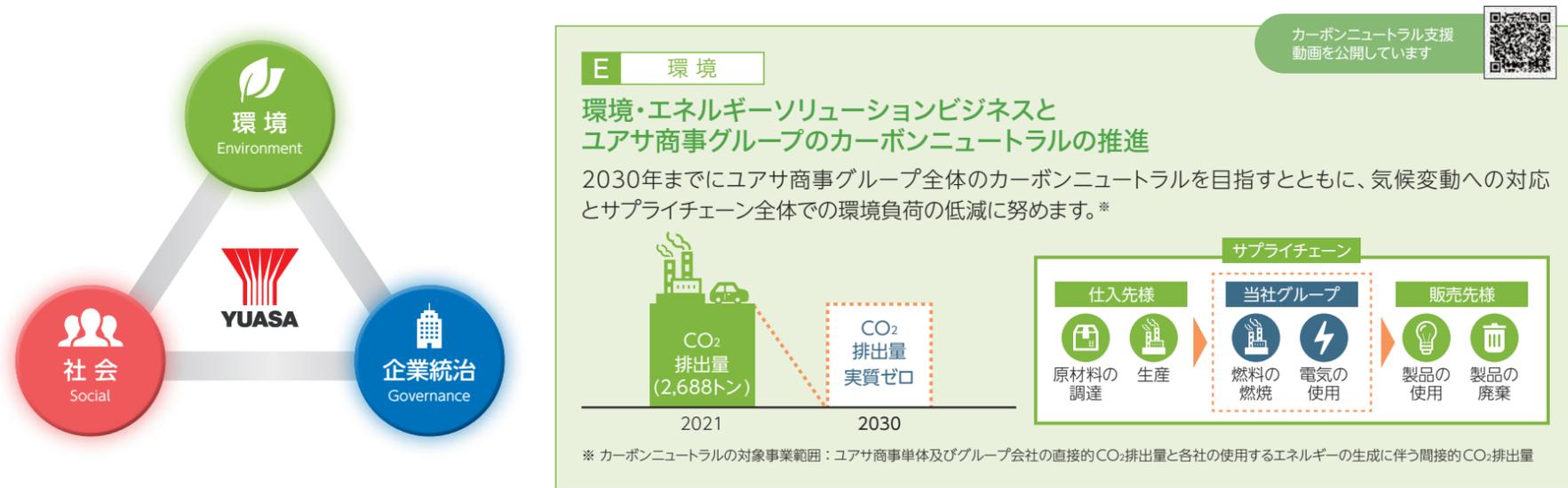
2022年3月期 経営成績

売上高	4,627億25百万円*	経常利益	117億44百万円
前期比 -		前期比 17.3%増	
営業利益	118億80百万円	親会社株主に 帰属する当期純利益	80億58百万円
前期比 32.3%増		前期比 16.3%増	

*「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度から適用しており、2022年3月期については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、売上高の対前期増減率は記載しておりません。

サステナビリティ推進について

ユアサ商事グループは、2030年までにユアサ商事グループ全体のカーボンニュートラルを目指す「サステナビリティ宣言」を2021年10月に発表いたしました。各種ESG関連情報の開示を拡充するとともに、350年以上受け継がれてきた経営基盤をさらに進化させ、持続的な社会の構築に向け積極的に貢献してまいります。



Pick Up

エネルギー統合管理システム「YES-net」

当社は2009年より業界に先駆けエネルギー統合管理システム「YES-net」を展開し、お取引先様の工場や事業所のCO₂排出量の見える化と削減の支援を行っております。世界的なカーボンニュートラルへの潮流を当社グループの事業機会と捉え、本事業をさらに推進してまいります。

YES-netとは？

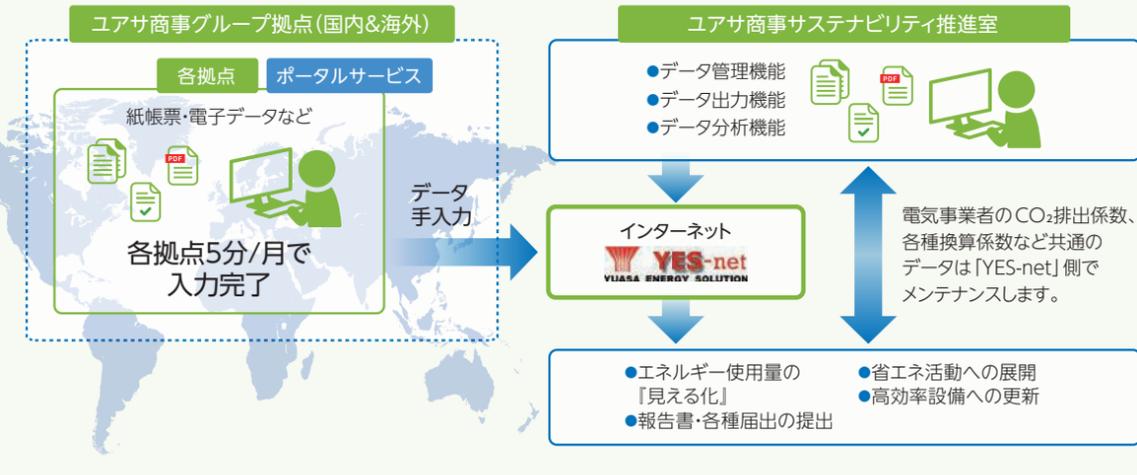
カーボンニュートラルはCO₂排出量の「見える化」から。

「YES-net」は、企業全体のエネルギー使用量データを効率よく収集・集計・管理して「CO₂排出量見える化」できるシステムです。



ユアサ商事グループ内での活用

当社グループは「YES-net」を活用し、当社グループの全拠点(国内・海外合計:192拠点)のエネルギー使用量を計測しております。



ユアサ商事グループの未来へ つなぐ 価値創造の取り組み

ユアサ商事グループは、モノづくり、すまいづくり、環境づくり、まちづくりの分野で社会課題解決に向けたつなぐ価値創造に挑んでいます。

加工環境ソリューション



モノづくりの加工工程において、機械や工具は日々進化していますが、加工環境は個々の技術では改善は難しく、生産性向上の障壁となっていました。さまざまな技術を「つなぐ」ことができる当社は、当社オリジナル商品のマイクロファインバブル「バブパワー」を始め、高性能ろ過、センシング技術による効果の見える化、AIによる解析・分析までをトータルでコーディネートし、加工液・洗浄液の長寿命化、加工条件や効率の向上、設備や工具の最適化を実現するシステムを開発しました。「バブパワー」は日刊工業新聞社の第64回十大新製品賞でモノづくり賞を受賞しました。引き続き、日本のモノづくりの生産性、競争力向上に取り組んでまいります。



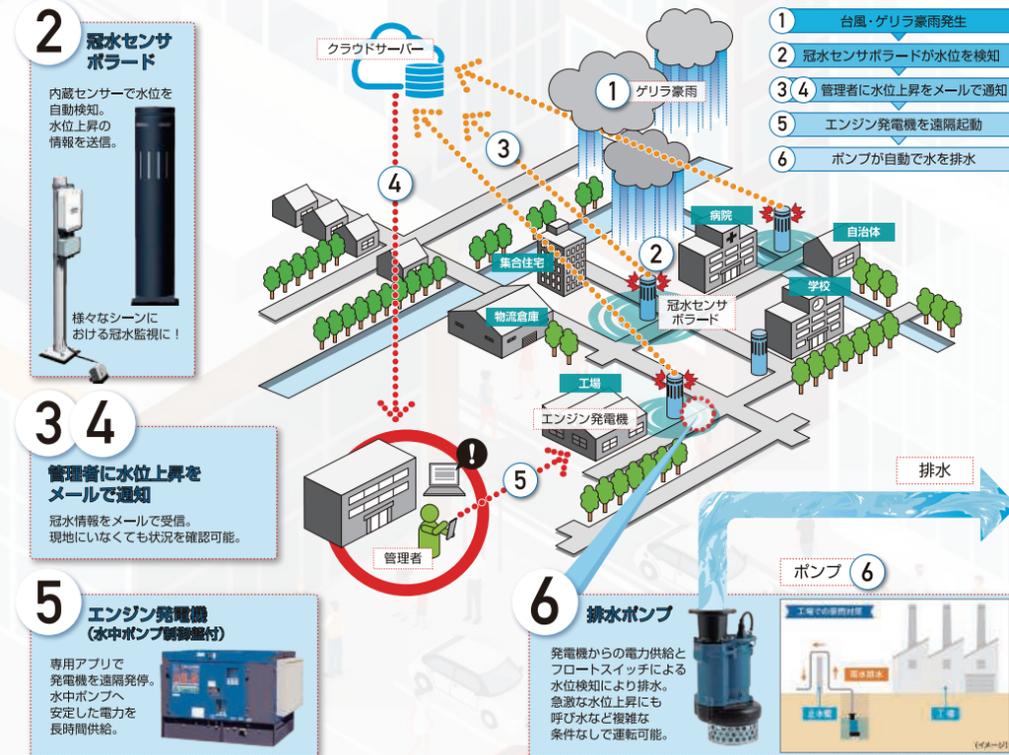
▲NewバブパワーUFB



▲日刊工業新聞社 十大新製品賞 モノづくり賞を受賞

ゲリラ豪雨対策を想定した「つなぐBCPパッケージ」

近年急増するゲリラ豪雨対策として、新排水システム「つなぐBCPパッケージ」の開発を推進しております。水位検知から発電機起動、自動排水をパッケージとしてご提供することで、多発する台風、ゲリラ豪雨による浸水被害から大切な命・施設・設備を守ります。



つなぐソリューション事例

左記でご紹介したソリューションのほか、以下を含め合計20以上の「つなぐソリューション」を推進しております。

製品・プロジェクト	概要	解決できる課題
リライタブルレーザーシステム	レーザー印字装置+Slerにて、通函用オリジナル印字装置を開発	省力化、ラベルゴミ削減
惣菜ピッキングロボット	六軸ロボット+AIで、バラ積みの不定形な惣菜をピッキング	省人化
飲料異物検査装置	AI搭載したロボットで飲料の異物混入を防止	省人化
Robo Combo	お手頃な価格で自動化を実現するロボットシステム	製造現場の省力化
八千堺®	販売先様、仕入先様、当社3社で開発。危険なコンクリート塀を安全・安心なアルミフェンスへ改修	防災・減災
ITENE	マンション管理会社とシステムベンダー様をつなぎ開発	工事点検業務の効率化
遠隔ICUプレハブ病棟設置事業	当社グループにて、病棟設計とプレハブハウスを製作し、空調などの機器類を組付け、トータル提案	開発途上国への医療支援
Yuasa LDX teamプロジェクト	6社と共同し、プロジェクトチーム立ち上げ	物流現場の効率化

他多数

成長事業戦略

海外事業

投資枠 40億円



国内で培った商品力やソリューションを海外に展開し、新たな価値を提供します。

Growing Together2023 進捗

- タイ・ASEAN地域最大級 工作機械と金属加工技術 関連展示会“METALEX”に出展。
- タイプロジェクトを推進中(タイにミニユアサ設立、2025年グランドフェア開催予定)



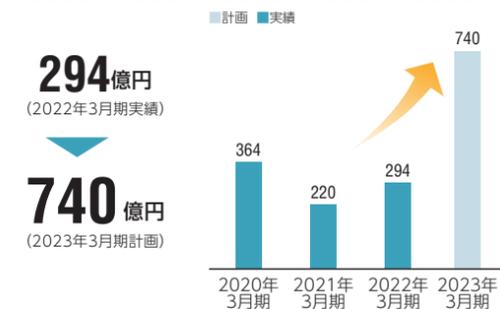
500社775人にご来場をいただきました。(2022年3月9日~12日)

今期の取り組み

- 環境、省エネ商品を拡販し、カーボンニュートラルを推進
- 海外現地法人のサービス機能強化

取扱高

(単位:億円)



ロボ(AI) & IoT事業

投資枠 40億円



「お手頃な価格で簡単に」をキーワードに、ロボ(AI) & IoTをご提案します。

Growing Together2023 進捗

- AI導入全てのステップをワンストップでご支援します。
- 手頃な価格で簡単に自動化を実現するロボットシステム「RoboCombo」の拡販

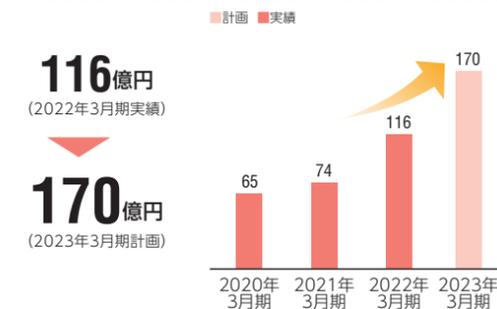


今期の取り組み

- グランドフェア、FOOMA JAPAN、ロボットテクノロジー ジャパン、AI EXPOなどで幅広くAIをご提案
- 当社オリジナルRoboComboの販売推進

売上高

(単位:億円)



環境・エネルギーソリューション事業



ワンストップソリューションで、お取引先様のカーボンニュートラル支援を行います。

Growing Together2023 進捗

- 太陽光発電・蓄電池・V2Hを組み合わせたソリューション展開
- 100%再生可能エネルギー利用工場化支援



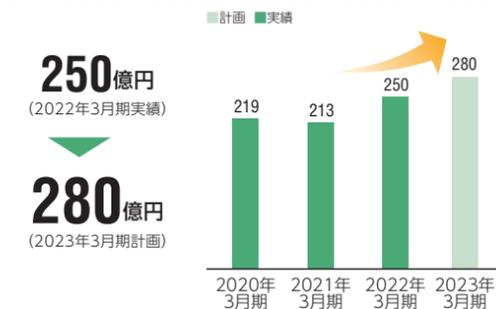
集合住宅向け急速充電器

今期の取り組み

- CO₂排出量の現状把握をご支援(YES-net)
- 蓄電池やEV用急速充電器の提案に注力

売上高

(単位:億円)



新流通事業



お取引先様との電子商取引(Growing Navi)事業を拡大します。

Growing Together2023 進捗

- Growing Navi発注金額の拡大(2022年実績54億円→2023年計画100億円)
- 販売先様とユーザー様を結ぶB to B to Uプラットフォームの展開(2021年4月~)



Growing Navi B to B to U 展開イメージ



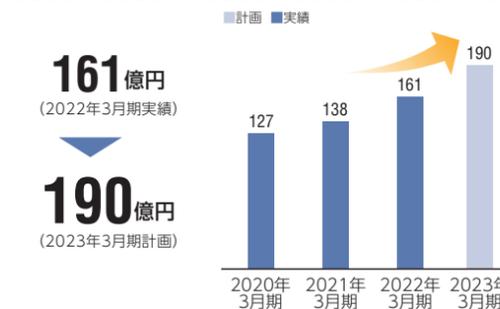
Growing Naviを販売先様のECサイトとして展開いただいております。

今期の取り組み

- Growing Navi サイト機能の充実(検索機能の充実、B to B to U新機能、他)

売上高

(単位:億円)



レジリエンス & セキュリティ事業



「防災・減災・BCP」をキーワードに、安心・安全なモノづくり、すまいづくり、まちづくりを支援します。

Growing Together2023 進捗

- コンクリート組立塀改修アルミ目隠しフェンス「八千塀®」の販売(ジャパン・レジリエンス・アワード2022優秀賞受賞)
- 北関東・信越レジリエンス&セキュリティ・ESGフェアを開催(ジャパン・レジリエンス・アワード2022優良賞受賞)



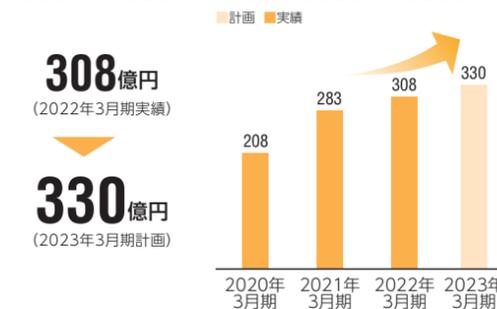
危険なコンクリート組立塀を、安全なアルミフェンスへ改修します。

今期の取り組み

- 複数の商品や機能を組み合わせた新しい水害対策パッケージの展開を推進

売上高

(単位:億円)



農業事業



Growing Together2023 進捗

- 国内で調達可能な原料で飼料の配合ができるオリジナルあっぺん機の提案
- 世界初の独立水耕システム「Own Greens」の販売開始

19億円 (2022年3月期実績) → 50億円 (2023年3月期計画)



独立水耕システム Own Greens

介護・医療事業



Growing Together2023 進捗

- 医療現場・集団接種会場向け感染低減ハウスの提案

68億円 (2022年3月期実績) → 80億円 (2023年3月期計画)



遠隔ICUプレハブ病棟設置事業を推進中

チャレンジ分野

シェアリング事業



Growing Together2023 進捗

- プロゴルフトーナメント会場へのハウスレンタルで多数実績

17億円 (2022年3月期実績) → 50億円 (2023年3月期計画)



日本オープンゴルフ選手権32棟納入

食品事業



Growing Together2023 進捗

- 当社オリジナル「リライタブルレーザーシステム」の開発
- 惣菜ピッキングロボットの提案
- 異物混入を防止する検査装置の提案

35億円 (2022年3月期実績) → 80億円 (2023年3月期計画)



「リライタブルレーザーシステム」レーザーにより非接触でラベルの印字・消去が可能

コア事業戦略

グランドフェア2022開催

さまざまな社会課題の解決に向けた「最先端の商品やソリューション」と、「AI(デジタル化)」を活用した未来ビジネスのご提案で、サステナブルな社会の実現を目指します。

今年のテーマゾーンは「モノづくり」「すまいづくり」「環境づくり」「まちづくり」の各ゾーンにおいて、社会課題を解決する商品やAI・デジタルを活用したソリューションを幅広くご提案します。さらに会場全体の出品メーカーさまのブースにおきましても、今年から始める新しい展示方法や情報収集の仕組みをご用意させていただき予定です。



社会課題を解決する商品・ソリューションのご提案

<p>モノづくり MANUFACTURING</p> <p>工場や倉庫の自動化、最適化</p> <p>「つなぐプロジェクト加工環境ソリューション」 「リライタブルレーザーシステム」 「飲料異物検査装置」 「食品ピッキング装置」 「協働ロボット搭載型無人搬送車」</p>	<p>まちづくり TOWN PLANNING</p> <p>災害対策、作業現場の安全対策</p> <p>「八千壱®」 「キツキミライボラード」 「キツキミライ新型コロナウイルス検知システム」 「つなぐBCPパッケージ」 遠隔起動排水システム」</p>
<p>環境づくり ENVIRONMENT CREATION</p> <p>カーボンニュートラルへの取り組み</p> <p>「カーボンニュートラルに向けたワンストップソリューション提案」</p>	<p>すまいづくり HOUSE MAKING</p> <p>施設管理のスマート化</p> <p>「集合住宅向けWEB予約システム ITENE」</p>

P5-6 ユアサ商事グループの未来へ つなぐ価値創造の取り組み

2022年度「グランドフェア」開催スケジュール

<p>関東グランドフェア</p> <p>開催日 2022 7/ 8 金・9 土</p> <p>開催場所 幕張メッセ 9~11ホール</p>	<p>九州グランドフェア</p> <p>開催日 2022 9/ 9 金・10 土</p> <p>開催場所 マリンメッセ福岡 A館・B館</p>
<p>東北グランドフェア</p> <p>開催日 2022 7/ 22 金・23 土</p> <p>開催場所 夢メッセみやぎ</p>	<p>関西グランドフェア</p> <p>開催日 2022 9/ 16 金・17 土</p> <p>開催場所 インテックス大阪 6号館 A・B</p>
<p>中部グランドフェア</p> <p>開催日 2022 9/ 2 金・3 土</p> <p>開催場所 ポートメッセなごや 第3展示館</p>	<p>グランドフェア2022の詳細はこちら https://grandfair.jp/gf2022/</p>

デジタル化の「はじめの一歩」をともに

AI相談窓口やAI活用ミニプレゼンエリアなど、AIの活用による最適化した課題解決方法をご提案します。



デジタル化で描けるミライ

デジタル化することで実現できる数年後のミライを大画面のデジタル漫画でわかりやすく描きます!

- 「デジタル化で描ける数年後のミライ」を漫画によるストーリーで訴求
- 課題を抱える架空の企業をモデルにAIやデジタル化でどのように課題を解決できるかを描く



経営基盤の強化

デジタルトランスフォーメーション(DX)推進

DX推進により「コト売り」のデジタル商社を目指します。

この度、DX推進部を新設しました。DX推進担当役員とDX推進部が中心となり、当社が持つ歴史や経験を可能な限りデータ化し、現在の仕入れ先様や販売先様のネットワークからの情報と、一般市場のデータを集約し、AIにより分析することで、新たなサービスや当社独自の商品開発に結びつけ、「モノ売り」から「コト売り」への変革を実現してまいります。

ITデジタル投資枠

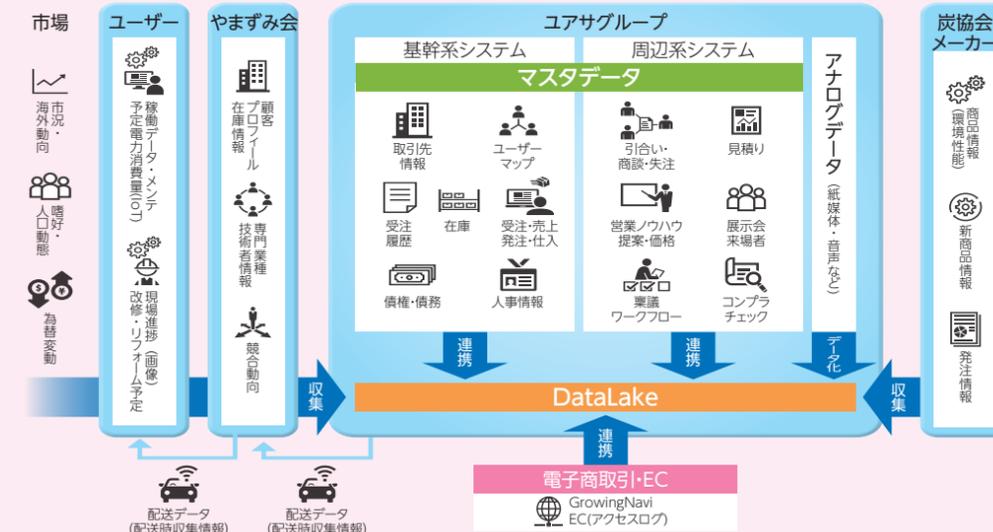
2ndステージ 40億円 + 3rdステージ 80億円 = ユアサビジョン360 120億円

●データを起点にしたビジネスを推進

データ活用に向けたデータ整理と収集の開始

「モノ売り」から「コト売り」への変革に向け、あらゆる顧客接点でデータを収集し、蓄積されたデータから顧客の感情や行動を分析し顧客視点の新しいビジネスモデルを構築するためのデータ整理・収集を開始しました。

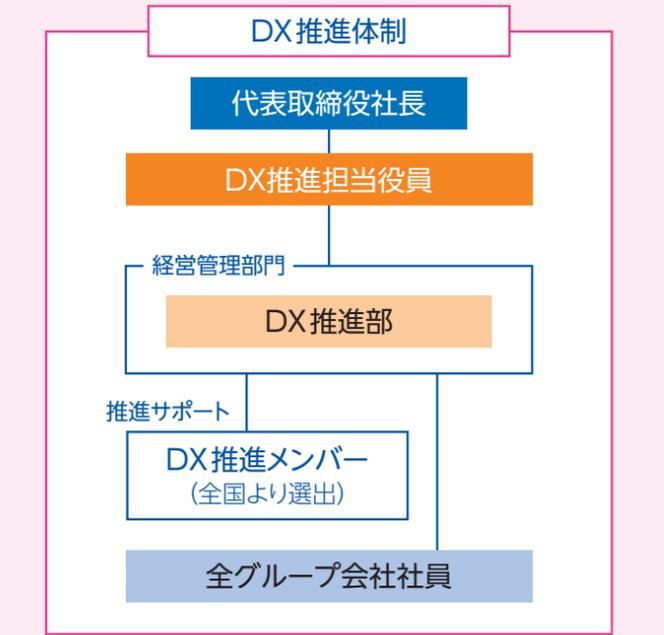
- ▶ マスタデータ整理に向けてECサイト運営部門をシステム部門へ一括集約
- ▶ SFA(営業支援システム)を活用した営業ノウハウ、ご提案内容を蓄積
- ▶ 展示会ご来場者様の情報収集



●DX推進体制の強化

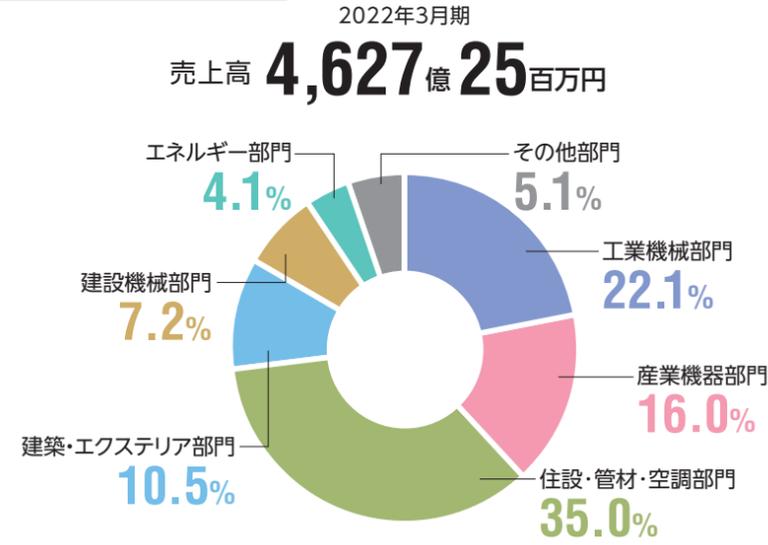
DX推進部を創設

DX戦略立案と、データを蓄積活用できるシステム構築のため、IT知識をもつ営業経験者とシステム構築経験者で構成されるDX推進部を2022年4月より新設しました。



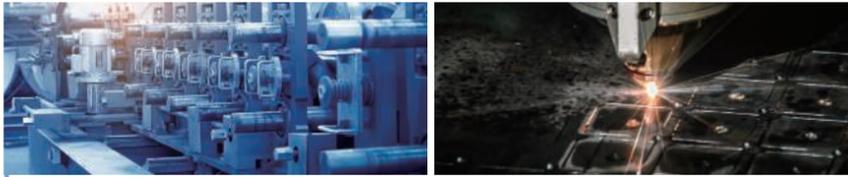
セグメント別の概況

セグメント別売上高構成比



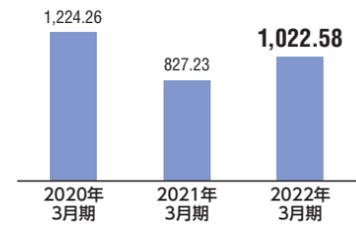
※2022年3月期の売上高は収益認識基準適用後の数値を記載しております。

工業機械部門



売上高 **1,022億58**百万円
前年同期 827億23百万円

世界的な半導体不足による生産活動への影響や原材料費の上昇が見られたものの、半導体関連産業やバッテリー、モーターなどのEVを中心とした自動車関連産業が好調を維持し、工作機械受注は引き続き伸長。海外では、米国や東南アジアを中心に景気の回復傾向が継続。

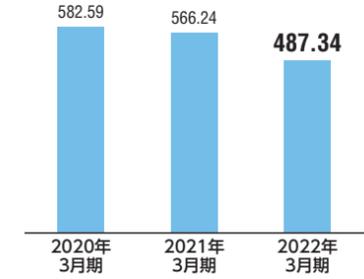


建築・エクステリア部門



売上高 **487億34**百万円
前年同期 566億24百万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、再開発事業の見直しや工事の遅延があったものの、景観エクステリア商材及び建築金物商材は緩やかに回復。自然災害対策や交通事故防止対策などの公共設備投資は首都圏を中心に底堅く推移。ライフスタイルの変化により物置や宅配ボックスの販売が増加。

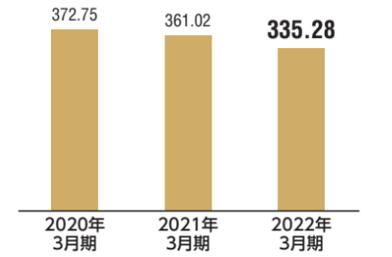


建設機械部門



売上高 **335億28**百万円
前年同期 361億2百万円

建設技能者不足などにより工事の遅延や民間設備投資の見直しが見られ、一部で需要が低迷した一方、インフラ整備、災害復旧、防災・減災工事など公共工事は堅調に推移し、レンタル会社の建設機械需要や土木系商材の需要も底堅く推移。しかし、半導体不足の影響により一部の建設機械では納期が遅延。



産業機器部門



売上高 **741億15**百万円
前年同期 615億20百万円

半導体関連部品の不足などによる納期遅延などの影響があったものの、自動車関連産業や半導体関連産業を中心に工場稼働率が堅調に推移し、切削工具・測定機器の需要が伸長。また、食品関連産業向けの物流機器などの需要も拡大。

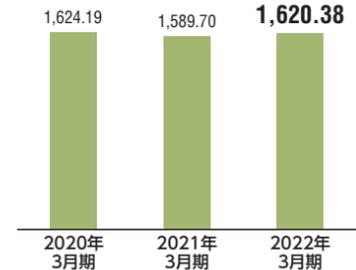


住設・管材・空調部門



売上高 **1,620億38**百万円
前年同期 1,589億70百万円

空調機器などの販売や住宅設備機器の需要は堅調に推移し、再生可能エネルギー分野では、蓄電池などの周辺機器の需要が増加。一方、関連部品の供給不足や生産国における新型コロナウイルス感染症拡大による活動制限により、給湯器、住設機器、ポンプなどの納期が遅延。

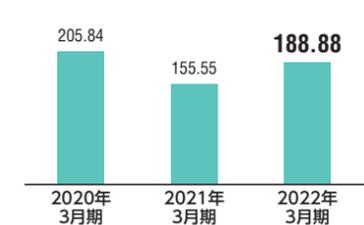


エネルギー部門



売上高 **188億88**百万円
前年同期 155億55百万円

緊急事態宣言発令などの影響があったものの経済活動は緩やかに回復したものの、低燃費車の普及などにより石油製品出荷数量はわずかながら減少傾向が継続。一方、ガソリン・軽油などの石油製品価格は高騰。

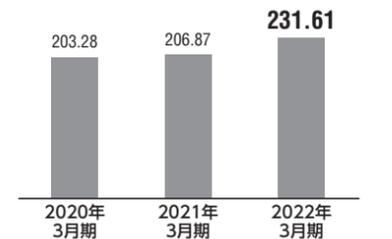


その他部門



売上高 **231億61**百万円
前年同期 206億87百万円

消費財事業では、巣ごもり需要の反動と、生産国の都市封鎖による輸入遅延で季節家電の販売は低調に推移。ネット販売事業は、多様化する消費者ニーズに対応し堅調に推移。木材事業では、ウッドショックによる影響の長期化などで厳しい販売状況が続く中、新たな仕入先の開拓にも取り組み、国産材の販売に注力。

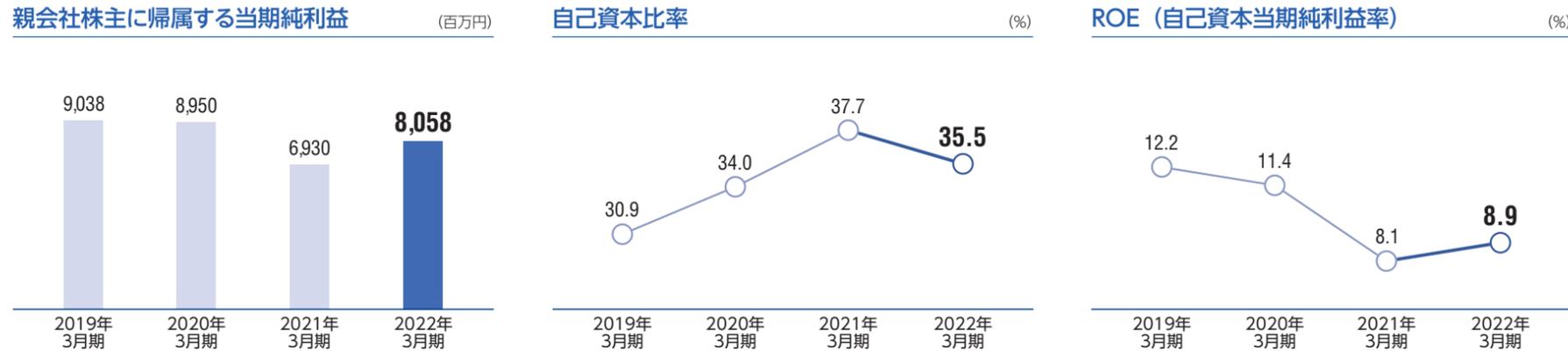


財務ハイライト

2022年3月期のポイント

連結業績 工業分野では、工作機械などの受注環境は回復したものの、半導体関連部品の供給不足が続いたことにより、自動車関連産業を中心に減産の影響が見られました。建設・住宅分野では、堅調な公共設備投資に加えマンションを中心に新設着工戸数が増加いたしました。海外では、ロックダウン(都市封鎖)やサプライチェーンの混乱はございましたが、米国や東南アジアを中心に景気に持ち直しの動きがございました。この結果、売上高は**4,627億円**、営業利益は**32.3%**の増益、経常利益は**17.3%**の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は**16.3%**の増益となり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は計画達成となりました。

配当金 期末配当金につきましては**1株当たり74円**とし、中間配当金と合わせて**年間123円(株主還元率33.7%)**とさせていただきます。



会社概要／株式情報

会社概要

商号 ユアサ商事株式会社
YUASA TRADING CO., LTD.
本社 東京都千代田区神田美土代町7番地
創業 1666年(寛文6年)3月
設立 1919年(大正8年)6月25日
資本金 20,644百万円
従業員数 2,489名(連結) 1,074名(単体)

取締役及び監査役 (2022年6月24日現在)

名前	役職	管掌
田村 博之	代表取締役社長	兼 海外事業推進担当
佐野木晴生	代表取締役専務 経営管理部門統括	兼 地域・グループ担当 兼 輸出管理委員会委員長 兼 倫理・コンプライアンス委員会委員長 兼 内部統制委員会委員長
田中 謙一	専務取締役 営業部門 統括 住環境マーケット 事業本部長	兼 ユアサプライムス(株)代表取締役会長
中山 直美	取締役 建設マーケット 事業本部長	
濱安 守	取締役 工業マーケット 事業本部長	兼 韓国興取締役会長 兼 ユアサネオテック(株)代表取締役会長
前田 新造	取締役(社外)	
戸谷 圭子	取締役(社外)	
木村 恭介	取締役(社外)	
古本 好之	監査役(常勤)	
前冨 威	監査役(常勤)	
鶴田 進	監査役(社外)	
本田 光宏	監査役(社外)	

(注) 社外取締役を除く取締役は執行役員を兼務しております。

国内ネットワーク (2022年4月1日現在)

国内拠点	主な国内グループ会社
31拠点 (8支社、13支店、10営業所)	株式会社国興 中川金属株式会社 永井産業株式会社
	工業機械 ユアサネオテック株式会社 ユアサクオビス株式会社 友工商事株式会社 浦安工業株式会社
住設・管材・空調	株式会社マルボシ 株式会社サンエイ 株式会社高千穂 フシマン商事株式会社
建築・エクステリア	東洋産業株式会社 ユアサクロス株式会社
建設機械	富士クオリティハウス株式会社 株式会社丸建サービス
エネルギー	ユアサ燃料株式会社 ユアサプライムス株式会社
その他	ユアサ木材株式会社 ユアサシステムソリューションズ株式会社

海外ネットワーク

主な海外グループ会社	
湯浅商事(上海)有限公司	中国
YUASA TRADING (TAIWAN) CO.,LTD.	台湾
YUASA TRADING (THAILAND) CO.,LTD.	タイ
YUASA ENGINEERING SOLUTION (THAILAND) CO.,LTD.	タイ
PT. YUASA SHOJI INDONESIA	インドネシア
YUASA MECHATRONICS (M) SDN. BHD.	マレーシア
YUASA TRADING (PHILIPPINES) INC.	フィリピン
YUASA TRADING VIETNAM CO.,LTD.	ベトナム
YUASA TRADING INDIA PRIVATE LIMITED	インド
YUASA-YI, INC.	米国
YUASA SHOJI MEXICO, S.A. DE C.V.	メキシコ

株式の状況

発行可能株式総数…………… 40,000,000株
発行済株式総数…………… 23,155,882株
(自己株式860,065株を含む)
株主数…………… 7,960名
※単元株式数は100株であります。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,878	12.91
株式会社日本カストディ銀行	994	4.46
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	900	4.03
BNYM AS AGT/CLTS 10PERCENT	894	4.01
ユアサ炭協持株会	858	3.85
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	675	3.02
西部ユアサやまざみ持株会	663	2.97
東部ユアサやまざみ持株会	601	2.69
株式会社三井住友銀行	594	2.66
光通信株式会社	529	2.37

1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出し小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。
3. 当社は自己株式860千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。なお、自己株式には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(188千株)は含まれておりません。
4. 上記信託銀行持株数のうち、当該信託銀行の信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
株式会社日本カストディ銀行 994千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 2,878千株

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.yuasa.co.jp/ir/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。

株主様インフォメーション

ユアサAIソリューションのご紹介

ユアサAIソリューションホームページでは、当社グループのトータルソリューション力と最新のAIテクノロジーをつなぐ新しい価値創造事例をご紹介します。下記よりは是非ご覧ください。



AIソリューションホームページはこちらから <https://ai-yuasa.com/>



カーボンニュートラル支援のご紹介

当社グループがお取引先さまと取り組むカーボンニュートラルについて、具体的な手順や方法をまとめた動画を公開しております。下記よりは是非ご覧ください。



カーボンニュートラル支援紹介動画はこちらから



動画配信のご案内



当社ホームページにて、2022年3月期決算説明会の動画を公開しておりますので、是非ご覧ください。

<https://www.yuasa.co.jp/ir/index.html>

